山の下中に情緒障害学級

特殊学級を新増設

「未就学児に学籍を」ということで、昭和五十四年度の「養護学校義務化」に備え、新潟市は、今年度も、山の下中に、県下では初めての情緒障害学級を一学級新設するなど、特殊学級の一層の充実を図りました。

今年度は、山の下中の情緒障害学級のほかに、精神薄弱学級を上所小に一学級、関屋中に一学級増設しました。また、病虚弱在宅訪問学級を関屋中に一学級新設、施設（明生園）訪問学級（肢体不自由）を関屋中に一学級増設しました。

昨年度は、児童生徒の適切な特殊学級への入級判別、就学指導などを行う「就学指導委員会」を組織し、明生園児、山場園卒園児および自閉的傾向の強いといわれる情緒障害児を中心に、小学校の特殊学級の設置に重点を置きました。

今年度は、中学校の特殊学級を充実させ、山の下中に情緒障害学級を、関屋中に病虚弱在宅訪問学級、施設（明生園）訪問学級（肢体不自由）を設けました。

ここ数年間、新潟市の特殊学級は、小学校の情緒障害学級、施設内訪問学級、中学校の在宅・施設内訪問学級、難聴学級の新増設などで、質的に多様化してきました。

昨年度までの特殊学級の設置校は、小学校二十二校、一学級、中学校が明生園一中学校十校で、学級別では、学級、言語障害が小学校二学級、情緒障害が小学校三学級、精神薄弱が小学校二十一学級、中学校十三学級、肢体不自由（在宅訪問）が小学校一学級、病虚弱が、在宅訪問で中学校一学級、施設訪問で小学校が明生園四学級、山場園一学級、中学校が明生園一学級、施設訪問で小学校一学級、計三十校となっています。

今年度は、県下では始めての中学校の情緒障害学級を新設するなど、一層充実することになりました。

山の下中の情緒障害学級は、情緒障害児のすべてでなく、自閉症あるいは自閉的傾向の生徒を対象にしており、これまでに自閉症の子どもを扱ってきた保母を一人、介助員として配置しました。

優秀農家を訪ねて —①—

昭和五十一年度優秀農家に選ばれた六人の農家を、六回にわたって、連載で紹介します。

稲作部門

岩室などへ〝通勤農業〟

渡部賢吾さん（三十九歳、小針）

渡部賢吾さん。三十九歳。稲作部門で表彰されました。

経営は夫婦のみで。

渡部さんの住む小針地区は、市の中心部から西へ約五㌔の市街化区域。

近年は、宅地造成が進み、周辺は、すでにかなりの住宅が建てられているなど、市街化による農地の潰廃が多くなっています。

そこで、この部落の農家がそうであるように、近隣市町村に農地を求め、西蒲原郡岩室村に二・七㌶、同郡巻町に六十㌃、同郡黒埼町に一・三㌶と経営規模を拡大し、農業経営に従事しています。

現在は、水田六・二㌶、畑七十㌃を所有。

自宅から遠いところで岩室村の二十三㌔。

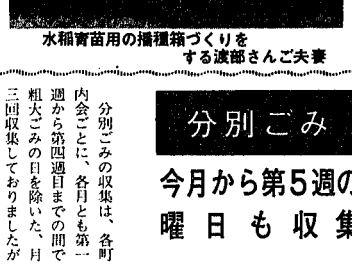
渡部さんは、夫婦ともども、トラックに、そのときどきの作業機械（トラクター、田植え機、自脱型コンバインなど）をのせて、弁当持参で〝通勤農業〟。

片道約三十分。朝は五時半ころ家を出、帰りは夜六時半か七時ころ。

機械化による作業効率と生産を高めるため、コンクリートあぜおよび用水路U字溝など本場整備を個人で行って、三等米八八%（市平均六七・二%）、十㌃当たり平均収量五百七十六㌔（市平均五百八㌔）と、市平均を上回る収量をあげました。

品種は越ひかり（一・一㌶）、十㌃当たり四百八十㌔）、とどろき早生（一・三㌶、同六百㌔）、はつまさり（八十㌃、同六百㌔）、しゅうれい（一・三㌶、同六百㌔）。

畑作は、自宅付近の耕地で、スイカ六十五㌃、後作として大根三十㌃、冬菜三十㌃を作付け。



水稲育苗用の播種箱づくりをする渡部さんご夫妻

稲作の渡部さん等を表彰

昭和五十一年度 優秀農家決まる

昭和五十一年度優秀農家に稲作部門の渡部賢吾さん（三九、小針）等六人が選ばれ表彰されました。

優秀農家は、①市に在住し稲作と畑作を合わせた農業生産額は、約一千二百万円。

将来の目標として、今後、さらに水田一・五㌶を取得し、八㌶に拡大したいとのこと。

する農家②企業的な農業経営を展開し、他の農家を啓発するにふさわしい模範的な農家③農業簿記を記帳している農家およびこれに準ずる農家④農業所得が年収四百万円以上の農家⑤後継者が農業に専従しているかもしくは近く専従することが見込まれる農家で、農業委員会地区代表委員が推進し、優秀農家表彰審査会で審査して選びます。

今回の表彰式には、農業経営が、本人だけでなく、中ば以上、妻に負っているということで、夫婦同伴で出席しました。

席上、市長は、「市の農政のポイントの一つとして、農村を生産の場としてだけでなく生活の場としても真剣に考えていきたい」との言葉を述べました。

なお、表彰された農家は次のとおりです。

【稲作部門】

▽渡部賢吾（39歳、小針）

【畑作部門】

▽土橋孫一郎（36歳、木山）

▽中野与左エ門（25歳、神山）

【施設園芸部門】

▽佐藤博雄（29歳、新崎）

【複合経営部門】

▽本間健寛（39歳、江口）

▽朝倉義博（40歳、鎌木）

（敬称略）

分別ごみ

今月から第5週の曜日も収集

分別ごみの収集は、各町内会ごとに、各月とも第一週から第四週目までの間で粗大ごみの日を除いた、月三回収集しておりましたが、「第五週の曜日も収集してほしい」――という要望が多く、そのため四月から第五週の曜日も収集することにしました。

したがって、第五週のある日は、分別ごみ収集回数が更に一回増えることになりました。

ただし、ご承知のとおりたまたま休日に当たった場合は、原則として収集は休みです。

なお詳細については、市清掃業務課から各自治・町内会を通じてのちほどお知らせいたします。

不用品登録制バンク

★物を大切に★

連絡は市生活課 28―8100番へ

◇ゆずります◇

電気製品 白黒テレビ、電気冷蔵庫、ステレオ、プレーヤー、スピーカー、洗濯機、電気アンマ器、イオン静電健康器、ラジオ、トースター、扇風機、電子ジャー、ホットカーラー。

乗物用品 大人自転車、サイクリング車、スノータイヤ、バイク。

楽器・スポーツ用品 エレクトーン、柔道着、スキー、剣道防具。

家具 ダブルベッド、シングルベッド、病院用ベッド、机、ホームデスク、デッキチェアー、応接セット、ス、瀬戸火鉢。

◇ゆずってください◇

電気製品 カラーテレビ、小型白黒テレビ、電子レンジ、カセットラジオ、テープレコーダー、洗濯機、電気炊飯器、ミキサー、ジューサーミキサー、ガス炊飯器、ナガシ、圧力鍋、鉄板焼機。

乗物用品 婦人用自転車、大人用自転車、子供用自転車、湯沸器、大型ガス湯沸器、風呂、石炭ガマ、風呂フタ、カメラ、カメラ三脚、石油ストーブ、地球儀、豆炭、エレキギター、ギター、子供スキー靴、スキーウェア、黒板、物干し台。

（三月二十五日現在）

家具 二段ベッド、整理タンス、カーペット、本箱、座敷用テーブル、ついて立て。

ベビー用品 アップリカ、ベビーカー、乳母車。

台所用品 オーブン、ミキサー、ジューサーミキサー、ガス炊飯器、ナガシ、圧力鍋、鉄板焼機。

その他 ポータブルミシン、ジグザグミシン、ガス湯沸器、大型ガス湯沸器、風呂、石炭ガマ、風呂フタ、カメラ、カメラ三脚、石油ストーブ、地球儀、豆炭、盆栽鉢、双眼鏡、望遠鏡、供スキー靴、スキーウェア、黒板、物干し台。

（三月二十五日現在）

……

不用品の登録（ゆずる側、ゆずられる側）は、電話では受けません。

生活課か地区事務所、連絡所へおいでください。

登録期間は三か月です。

詩吟講習会

日時 4月11日午後6時半～8時

会場 南部公民館（関屋金鉢山）

無料ですのでどうぞおでかけください。

〝土の会生活学校〟生徒募集

こんど〝土の会〟が県新生活運動協会の進めにより生活学校として発足することになりました。みなさんご参加ください。

〈開校式〉

日時 4月14日午前10時～正午

会場 中央公民館

申し込み 新潟県新生活運動協会（一番堀通り☎23―5511 内線3561）

第32回県展作品募集

会期 5月20日～30日

搬入受け付け 5月14日・15日午前10時～午後4時

受け付け場所 洋画・彫刻・工芸・書道―県美術館、版画―大和7階ホール、写真―小林6階、日本画―イチムラ8階

出品手数料 1点2千円、1点増す毎に千円、1人3点以内

詳しくは新潟日報（☎29―2211）へ

「働く人びとの職場体験記」募集

テーマ ①職場の中の私②仕事と余暇③技能に生きる―のうちから1つ。

原稿 400字詰原稿用紙4～6枚（第1ページに住所、氏名、年齢、職業を明記、職業訓練生はそのむね明記）

応募 5月10日までに、東京都港区芝公園1―7―6 中退金ビル日本労働協会「働く人びとの職場体験記係」へ

キャンバス南会員募集

キャンバス南は、油絵学習グループ

日時 毎週木曜日 午後6時～8時

会場 南部公民館

指導 桑山恒夫先生

会費 月1,000円

申し込み 電話(65―0538番)で山田まで

老人無料入浴券交付中

～保険証をもって、おでかけください～

対象 4月30日現在で満65歳以上の人。年度途中で達した人は、その月から申請。

交付場所 市民課福祉窓口、各地区事務所、連絡所。

枚数 申請月分から各月4枚（さかのぼっての交付はしません）

持参品 健康保険証